

柏ビレジ自治会便り

2012/4月号

# 柏ビレジ・ニュース

2012年4月1日  
柏ビレジ自治会発行  
自治会事務局（自治会館）  
TEL 04-7132-1925  
FAX 04-7132-1965

## 折鶴が結んだ絆



### 花野井小・田中小児童作品展 (はなみずきにて開催)

1月下旬から2月中旬にかけ、児童の図画・工作・書道作品を展示しました。今回、花野井小は30周年記念の冊子。田中小は、岩手県の被災した小学校へ贈った折鶴の返礼として送られてきた寄書きを特別展示しました。

## 世代を超え 住みやすい街を目指して 平成23年度、自治会の取り組み 各部報告

今年度役員会では、事業の見直しと、役員任期を2年にするなどの重要課題に取り組み、議論してきました。役員任期については、引き続き1年とし、各行事において、拡大、縮小、廃止など変更していきます。事業の充実、継続のため、お手伝いいただけるサポーターを募ります。また必要に応じて委員会を設立して問題・課題を検討することが承認されました。

### 4月15日(日) 第31回定期総会 13時～開催 花野井小学校体育館

### 東大共催シンポジウム これからの柏ビレジの暮らしを考える ～楽しく生きがいのある街づくり～ 3月17日(土)



「これからの柏ビレジの暮らしを考える」というシンポジウムが柏ビレジ活性化委員会の主催で開催されました。昨年度末に自治会員にご協力いただいたアンケートを基に、東京大学大学院准教授清家剛氏と、矢富直美氏が高齢化に向かう街の課題を取り上げ、提言。様々な意見がかわされました。

詳しい内容は機会を改めてご報告します。またビレジ活性化委員会ニュースもご覧下さい。

#### 環境部の取り組み

部長 湫 徹郎

- 平成23年度田中地区ゴミゼロ運動関連
  - ☆ 5月29日(日) ビレジ内「春のクリーンデー」実施
  - ☆ 11月27日(日) ビレジ内「秋のクリーンデー」実施  
(落ち葉を含む可燃ごみの収集量は402袋)
- 3月11日の東日本大震災に伴う福島原発の放射線災害関連
  - <放射線量測定器購入>
    - 7月22日 放射線量測定器一台、(型名:DoseRAE 2、¥70,000)購入
    - 12月 8日 ビレジ内住民に貸出用として上記と同じ製品を一台追加購入
  - <放射線量測定場所・測定頻度>
    - 8月 2日 夏祭り開催場所周辺(近隣公園、自治会館)の放射線量測定を毎週行い測定結果をビレジ内で回覧開始
    - 9月以降10月中旬 グラウンドゴルフが予定されていた花野井小学校運動場、及び水辺の公園周辺の線量測定結果を毎週回覧
    - 10月中旬以降 ビレジ内で人の往来が比較的多い場所、子供達が集まる10数箇所の地点を決め同じ場所での測定結果を毎月回覧
  - <放射線量測定器貸出>
    - 12月19日 ビレジ内住民を対象に測定器の貸出を開始

#### 広報部の取り組み

部長 萩原 辰雄

- 柏ビレジニュース発行  
カラー2頁、年6回の発行を続けました。シリーズでの「ご近所の名所」紹介、時宣を得た随想などを取り入れました。内容や読み易さをと、まだまだ工夫が必要だと思えます。
- 議事録取りまとめ  
自治会総会および毎月開催される自治会役員会の議事録を取りまとめています。議事録は自治会事務局に保管され随時閲覧が出来ます。
- 柏ビレジホームページ  
ホームページが開設されました。内容の充実や常時のアップデートが今後の課題となります。

## 放射線問題・除染」について —環境部

昨年8月に国会で可決・成立した「放射性物質汚染対処特別措置法」には、「国は責任をもって除染を推進する」「自治体が放射能対策に要した費用は国が財政支援を行う」という条項が盛り込まれています。

ところが実態は「広報かしわ」(3/1付)によれば、例えば子ども達の健康を心配する父兄や教職員達の手で自主的に除染が行われ数値が低くなった小学校や地域は、もう「除染作業の必要はない。行う場合は自治体が独自に対応するように」というものです。柏市は大勢の子ども達が集まる場所は事故前の水準に戻す方針で、これでは市の負担が重すぎるとして秋山柏市長を始め、汚染状況重点調査地域の指定を受けた県内9市の市長が2月17日、細野環境大臣に「緊急要望書」を提出しました。柏市は確固たる決意をもって、国による確実な財政措置を求めていく方針です。

柏ビレジは公園や樹木が多く、無色透明、無臭の放射性物質は依然として高線量を保っています。除染は喫緊の課題であるはずですが、広大な緑地を有するがゆえに莫大な除染費用を要し、当局も苦慮しているのか現状だと思われます。それでも少しずつ除染作業が動きだしました。

#### ●除染工事進捗状況(ビレジ関連施設 3月18日現在)

①除染工事の施工業者が決定し、3月から順次施工が予定されている公共施設

- ・花野井小学校
- ・緑道沿いにある第3公園
- ・グラウンド(自治会館の向かい側)は3月21日より実施

②4月以降予定されている公園

- ・緑道沿いにある第4、7公園(順次除染)
- ・近隣公園

#### ●自治会館での測定器貸出し状況

当初自治会館の貸出し窓口の混雑が予想されたのでボランティアの方々の応援をお願いしてきましたが、やや落ち着いてきたので、3月から自治会事務局事務員の対応となりました。なお、自宅や自宅周辺での測定値が0.23マイクロシーベルト/時以下であれば安全とされています。

#### ●自治会費で購入した2台の測定器の費用が市の補助の対象となる見通しとなりました。

#### ●3月15日付「広報かしわ」より

柏市は不法投棄のパトロールを強化中で、放射線量の高い汚泥などを道路や河川敷・公園などに投棄すると、法令により5年以下の懲役又は1,000万円以下の罰金の対象となりますので遵守しましょう。



**部長 菊地 陽二**

はじめに、今年度の事業部の活動に積極的にご参加いただいた自治会員の皆様に御礼申し上げます。次に活動を全面的に支

えて頂いたサポーターの皆様に厚く御礼申し上げます。経験豊かな皆様のお陰で、大変スムーズに活動を展開することができました。更に今年度の仲間としてこの一年、各事業においての役割分担をしっかりと務めて頂きました。役員の皆様に御礼申し上げます。役員になって初めて、これまで携わっていた先輩の方々の苦勞を知ることもできました。自治会活動は誰かがやらなければならない仕事です。交代で務めることにより、お互いに理解が深まり同じ住民としての絆も強くなっていくものと思います。

**今年度の事業の反省と提案**

- ① 柏まつり(七夕まつり)は、七夕飾りの品評会といった趣のものです。今回は第2位の『彦星賞』を頂きました。これは子供会の皆様が工夫を凝らし『絆』をテーマに飾り付けをした事がポイントでした。竹選びも大切です。枝振りの良い竹を選んで下さい。
- ② 夏祭りは、盆踊りと花火大会がメインイベントです。夜店も欠かせません。今年度は放射能問題で一日だけの開催でしたが、来年度は二日間に戻し子供会の皆様是非ご参加をお願いします。
- ③ 田中地区運動会は、子供会の参加がなく盛り上がり欠けたものとなりました。
- ④ 餅つき大会は、自衛隊の炊飯車も参加。不慣れな点もありましたが貢献されました。子供会のお母さん達で作られた豚汁が大層おいしく、しかも大量に作って皆様から大変喜ばれました。もち米の蒸す時間を短縮するには、蒸籠に入れる量を少なめにし回転率を上げることが良いと思います。
- ⑤ 凧揚げ大会では、風の通り道に凧の脚を10M以上の長さにつけて揚げる事がポイントです。最後に、担当した一年間は大変充実したものとなりました。皆様のご協力誠にありがとうございました。



**部長 山崎 孝允**

**防犯関連**：自治会主催による夏季・冬季の夜間防犯パトロールについて  
夏季は例年通り参加者を広く募集し、参加者同士の交流も兼ね、抽選組合せにより、6グループに分け、ビレジ全域をパトロールしました。

冬季は、支部・班を中心とした担当日を設け、自支部内のパトロールに変更したところ、身近な所を、身近な人達で回るということもあり、お一人参加の方は勿論、ご家族(夫婦・親子)で参加された方が大幅に増え、例年に比べ約3倍の321名の方が参加しました。防犯・防災ではいざという時に近所力がものをいいますので、この方法が定着し、共助への足掛かりとなればと思っています。環境面からは、風化した防犯用立看板は、住民の防犯意識が薄い街と思われるので、傷みの著しい5箇所を10月に新しいものと取り換えました。

**防災関連**：11月に防災訓練(避難・初期消火・応急救護)を実施しました。参加した方は、消火器・三角巾の使い方を各自で体験していただきましたが、例年、参加者が少なく、今後、訓練のあり方や時期等を見直していく必要があると思います。又、災害発生時の安否確認の方法も課題と思っています。

雨水対策として、豪雨によるビレジ内のある地点の冠水や階段上の流水を防止する為、市に要望して、マンホールの鉄蓋やコンクリートの側溝蓋を鉄格子化(グレーチング化)し吸込み口を増やす改善策を取りました。交通安全としては、市に依頼して花野井小学校前の道路に注意立看板を設置し、通行者に注意を呼びかけました。

年間を通じて、会員の皆様は勿論のこと、新樹会の皆様の日頃のパトロールにより、情報がもたらされ、ご協力をいただき活動できたことを深く感謝・御礼申し上げますとともに、引き続き、ご協力をお願いする次第です。



**部長 中谷 明**

**平成23年度**

**1年の活動を振り返って 各部報告**

①ビレジ内福祉関係者会議の開催

民生・児童委員、健康づくり推進委員、新樹会、はなみずき、アイビーサロン等の福祉関係諸団体の方々に一堂にお集まりいただき、情報交換会を3回開催しました。生活支援、「K-ネット」、敬老記念等について貴重なご意見を数多くいただきました。

②福祉関連公的相談窓口取材・広報

福祉関連の公的相談窓口・サービスを実際に現地に行って取材しました。その概要については、「ご存じですか?身近に使える公的相談窓口・サービス」と題して、ビレジニュース12月号、2月号に広報部の協力を得て掲載しました。今回取材したのは、柏北部地域包括支援センター、街角の年金相談センター、社協さわやかサービス、柏市消費生活センターの4か所です。

③柏北部地域包括支援センターについては、同センター主催で、1月に柏ビレジ近隣センターで「転倒予防のための体操教室」が開催され、約30名が参加されました。新樹会の協力も得ながら、広報面からサポートしました。

④花野井小・田中小児童作品展開催

1月下旬から2月中旬にかけ、はなみずきと共催で児童の図画・工作・書道作品展示。はなみずきでは、美術展、映画鑑賞会、音楽会等が、ボランティアのみなさんの自主的な協力のもと年間を通して開催されています。

⑤グラウンド・ゴルフ大会

10月に予定した大会は、新樹会の全面的協力で準備を整えましたが、雨天のため中止のやむなきにいたり、次年度に持越しとなりました。

⑥ビレジ活性化委員会との連携

活性化委員会と東大高齢社会総合研究機構が協働で進める生活支援実験構想具体化に向けた話し合いに福祉部として継続的に参加しました。

⑦福祉部内研修

県けやきプラザで実施された高齢者疑似体験研修に参加し、高齢化に伴う運動機能・認知機能の低下状態を疑似的に体験する機会を持ちました。

**次年度福祉部活動への要望事項**

- ① 継続協議中の「K-ネット」については柏市の見直し提案を受けて、防災部、民生・児童委員と連携し、運用定着化をはかること。
- ② 介護予防について、地域包括支援センターと連携強化し介護予防「出前セミナー」開催を要望すること。(上半期、下半期 各1回)
- ③ 生活支援試行について活性化委員会と連携し、東大高齢社会総合研究機構の生活支援構想具体化に協力していくこと。(上期:準備期間、下期:試行)
- ④ 敬老の日記念品贈呈(75歳以上)について民生・児童委員と連携し実施すること。
- ⑤ 柏ビレジ内福祉関係者会議を四半期定例化し、情報交換を密にすること。(5、8、11、2月 原則第2土曜日19時~20時半)
- ⑥ グラウンド・ゴルフ大会を新樹会・子供会の協力を得て実施すること。
- ⑦ はなみずきと連携し、花野井小・田中小児童作品展をさらに展示数を増やして実施すること。(1月下旬~2月中旬、はなみずき)
- ⑧ はなみずきの一層の利用促進について日常的コミュニケーションをとりつつ、協力していくこと。
- ⑨ 高齢者福祉についてのタイムリーな情報を継続的に収集し伝えていくこと(ビレジニュース中心に年2~4回)。新樹会広報とも情報交換していくこと。
- ⑩ 福祉関係情報を自治会HPに順次追加していくこと。



**部長 井原 久夫**

平成23年度も最終月を迎えることになったが、総務部長の例年の仕事

は総会を迎えるこれからが本番である。この役目はまだ終わっていないので反省も感想も述べようがないが、総会での決算・予算についてはできるだけ分かりやすく説明したいと思っている。

今年度総務部として重点的に取り組んできたのは、4年ぶりの自治会名簿の改訂である。自治会名簿の構成はご存知のとおり、いわゆる名簿(=住所録)と自治会規約等その他の資料で成り立っており、これらを全て見直すとなると結構時間を費やすこととなった。

資料の見直しについては本部役員や事務局及び他の団体の協力を得て、改定すべきところは改定したつもりであるが、まだ充分でない箇所のあることは否めない。メインである住所録の更新にあたっては、まずは現在居住する人を確認するために、各支部長や班長には大変なご足労いただいたこと、この場を借りてあらためてお礼を申し上げたい。また、時間をかけている間に会員の入・退会の移動が毎月のようにあることに気づき、できるだけアップデートするよう心掛けたつもりである。

自治会名簿は、本来会員相互の連絡と親睦用に供するために作成されるものであるが、それぞれ理由があるにせよ、氏名や電話番号等の非記載を希望される人が多くおられたのは少々残念である。柏ビレジの居住戸数は、1540戸前後(アパート住人を除く)で1年前とほとんど変わっていないが、種々の理由により今後の動向が注目される場所である。

柏ビレジ活性化委員会でも環境、高齢化、交通対策等検討いただいているが、柏ビレジ在住の一人ひとりが街づくりに協力し合ってこそ、新しい柏ビレジが生まれるものと思う。柏ビレジ誕生30周年記念のこの年に、初心に戻った気持ちでお隣さん、お向かいさんに声をかけ合い、その輪を拡げ、ビレジ全体の親睦を深めていけば全体の活性化につながるのではないかと考える。次回名簿改訂時には、名前や電話番号が表に出ることの不安が一人でも多く減るようなビレジになっていることを期待したい。

平成23年度役員の皆様、一年間お疲れ様でした。またそれぞれの活動に心を砕かれ、ご尽力くださいましたこと、心より感謝いたします。未曾有の災害の後、自治会活動も、今までにない厳しい現実に取り組みなければならなかった一年でした。私たちの街のより良い未来のために、さらに充実した自治会活動にこれからもご支援をお願いいたします。(デスク)